

# 議会報告会 報告書

No 1

開催日	平成 23年 4月 21日 18:00 ~ 19:35		
開催場所	福山公民館2階大会議室	参加人数	13人
出席議員 (3班)	宮内博、有村隆志、松元深、田代昇子、山浦安生、蔵原勇、徳田和昭、新橋実		
役割分担	班長(宮内博)		副班長(松元深)
	委員会報告者	総務常任委員会	(田代昇子)
		環境福祉常任委員会	(有村隆志)
		産業教育常任委員会	(山浦安生)
		建設水道常任委員会	(蔵原勇)
		予算常任委員会	(徳田和昭)
	記録	(新橋実)	
議会報告 に対する意見等	<p>・ページが分かりづらい。</p> <p>・土地開発公社の問題で土地の買い戻しの件は、3月16日に議会に提出する前に公社との間で仮契約をしている。また、なぜ簿価価格で購入したのか。</p> <p>前回の土地開発公社から民間業者に対し、14分の1で購入した経緯もあるので、議会として修正動議を出してもらいたい。</p>		
意見交換会での 主な意見等	<p>(凡例 ◆: 市民の方々からの意見 ⇒: 議員の回答)</p> <p>◆一般廃棄物最終処分場建設について決定しているのか。福山には焼却場もあって、最終処分場も造る。1市6町が合併したのであるから他の地区にも負担を持ってもらいたい。敷根清掃センターの焼却残渣の処理は今後どうしていくのか。汚水の処理に不安がある。議員も焼却残渣がある下の貯水池を確認してほしい。</p> <p>⇒一般質問でも取り上げられており、一般廃棄物処分場については昨年環境対策審議会から、焼却灰については再度、再資源化を図るために、山元還元方式を行っている北九州のほうへ持っていくように言うことと、また、最小限必要な施設を造るよう回答がされている。執行部でも前から検討している15年間は対応できる施設建設への対応は変えていないが、その方式も検討を始めている。</p> <p>9万トンの焼却残渣の処理については、執行部としては現状のままで残す方向で考えている。下流域の調査については、環境福祉常任委員会にも伝えていく。</p>		

# 議会報告会 報告書

【 4 月 21日 3 班】

No 2

意見交換会での 主な意見等	◆地デジ放送が宮崎関係の放送が流れて、鹿児島県の放送が見れないところが多くある。その対策は、どのようになっているのか。
	⇒今回の予算でも新たな難視聴地域が134箇所、1837世帯確認がされており、平成23年度に新設の共聴施設を20箇所予定し、受信アンテナ対策として6箇所を予定している。総務常任委員会でも議論していきたい。
	◆敷根清掃センターの焼却残渣は、大きな地震等が来れば錦江湾に流れ込むことは必定であるが、今後どうなっていくのか。若尊鼻が国立公園の自然公園になるとあったが、また遊歩道も整備されるようだが計画はどのようになっているのか。また、レアメタルについて分かっている情報があったら教えていただきたい。
	⇒9万トンの焼却残渣については、今後、環境福祉常任委員会でも紹介して検討を進めていくよう要請していきたいと考えている。若尊鼻整備については、今年度から、遊歩道整備で4500万円の工事がされることになっている。若尊鼻は、霧島錦江湾国立公園となり、特別地域の2種となる。レアメタルについては、まだ新聞に載ったばかりであり、今後、議論がなされていくと思う。
	◆処分場建設について、処分場建設が決定したと聞いたがどうなっているのか。工期が8月に延びたというお知らせがあったがどうなっているのか。
	⇒建設をするということが決まっているわけではない。今年度予算にも処分場建設予算は組まれていないので、環境影響調査のことではないか。
	◆一般廃棄物管理型処分場について、山元還元方式によるストックヤードについて場所の見直しをしてほしい。当初1期15年を3期で30億円もかけずに必要最小限の費用で作ってほしいと要望したい。
	◆財政の件で、市債が平成23年度末で約700億円ということであったが、今後のシミュレーションが示されていない。霧島市の平均所得額が250万円前後であるのに、700億の市債が本当に払えていくのか。そのためには議員の定数削減や職員の給与の見直しなどを行うことも必要だと考えるが、今後、

# 議会報告会 報告書

【 4 月 21日 3 班】

No3

意見交換会での 主な意見等	住民監査請求も考えている。
	⇒地方債については、合併して約100億円減少していることも理解していた だきたい。
	◆地方債の引き受け先を市民の方に市債を買ってもらったらどうか。検討し た経緯はないか。
	⇒要望として伺っておくが、地方債の利息の高いものについては、利息の安 いものに切り替えている。
	◆下場地区は、お年寄りが非常に多くなり限界集落となっており、自治公民 館活動等もできなくなってきている。自分たちでできることはできる限りし ようと思っはいるが、なかなか難しい現状である。今後、議会の方々から のお力をお貸しいただきたいと考えている。(要望)
	◆郵便局を理解していただきたい。山間部の人たちは、例えば4万円の年金 をもらいに行くのも往復7千円のタクシーを利用していかなくてはならない 現実がある。国への要望となるが、弱者の方がそのような状況であることを 理解していただき、郵便事業が3事業一体となれば、そうした地域へも配達 ができるようになる。今後、陳情などがあってくれば、国へ要望してもらい たい。